

青少年のための《クロノス文学賞》

〈成長することは年をとること、年をとことは成長すること〉
あるいは
〈どのように文化と読書の関係、そして世代間の交流を図るのか〉

1996年にフランス国立老年学財団は、青少年のための〈クロノス文学賞〉を創設しました。

同賞設立の目的は、誕生から死までの人間の生涯でのさまざまな発見、あるいは異世代間の交流、人間の知恵の伝達などについて若者達に関心を持ってもらうことです。

また、すべての年齢層の人々に、生涯の各時期各段階の大切さについてを、改めて考えてもらうことです。

"老い"についてと、異世代交流を論じる最もすぐれた絵本と小説が授賞の対象です。

子ども達に読書の面白さを知ってもらうこと、そして外国から審査員として参加する若者達にはフランス語に接してもらうことができます。

同賞のテーマをより掘り下げ、発展させて行きます。

最終選考は審査員として登録した子ども達によってなされます。

1996年の賞創設時には、パリとパリ周辺のイール=ド=フランス地方の230人の子どもが審最終選考に参加しました。

翌年の1997年には既に3000人、

1998年には7800名の青少年が審査員として登録、

1999年には13000人が参加、

2000年は18000人強、

2001年の第6回クロノス賞ではほとんど23000名、。

2002年の今年には既に23000人を上回っています。

毎年10数か国からの参加があります。

選考対象は、賞のテーマ〈成長することは年をとること、年をとことは成長すること〉に合った内容の、その年度に出版された絵本および小説です。

予め、出版社からは完全に独立した、老年学界、教育学界、青少年向け専門書店、図書館員、司書等の代表からなる委員会です。予備選考を行います。

委員会を通過した4~7冊(年齢により絵本もしくは小説)の選考対象作品を、審査員に登録した子ども達は、10月から2月末の間に読むこととなります。その後に投票、勿論守秘義務は厳正に守られます。そして毎年3月に、パリの〈サロン ドゥ リーブル(本の博覧会)〉会場にて受賞作が発表されます。

今年2002年には〈クロノス20歳および20歳以上賞〉も創設しましたので、今後はすべての世代、大人も交えて、中心テーマである〈成長することは年をとること、年をとことは成長すること〉についてを、異世代間の交流を通して、より深く掘り下げ、議論を発展させることが可能になりました。

そうすれば、私達の運動は幼稚園児から100歳以上のご年配も巻き込んで…。